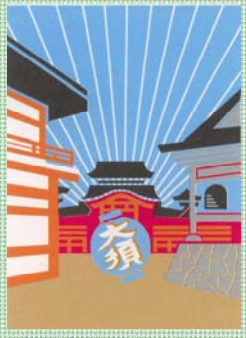
名古屋大須ロータリークラブ
WEEKLY REPORT No. 973

承　認／1985年2月12日　　例 会 日／木曜日12:30～
例会場／名古屋東急ホテル
会　長／堀江 英弥　　幹　事／前田 隆久

事務局／460-0008 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル 6F
電 話／(052)251-0181　FAX／(052)251-0337
URL／http://www.nagoya-osu.org　Email／office@nagoya-osu.org



2007-2008 RI President
Wilfrid J. Wilkinson

ロータリーは分かちあいの心

＜本年度クラブ会長方針＞

ENJOY ROTARY ふたたび

第1136回例会

職業奉仕・米山月間

於　名古屋東急ホテル
平成19年10月18日(木)
会員　69名
出席計算数61名中45名出席
出席率　73・77％
前々回出席率　95・16％

ロータリーソング

「4つのテスト」
指揮者　鬼頭　茂成
ピアノ伴奏　冨板　玲子

ゲスト

元米山記念奨学生
ジラルンルアンチャイ・グンティダーさん
（グレイスさん）

ニコボックス

先日、白山スーパー林道へ行って来ました。紅葉がきれいでした。　前田　隆久

長男が結婚しました、クラブからの祝電ありがとうございました。　渡辺　剛男

住田先生、色々お世話になりありがとうございます。先日の新メンバー紹介有難うございます。益々のご健勝をお祈り申し上げます。　北川　晶邦

岡田さん、先日はありがとうございました。　柴岡　正将

事務局、特に岡村さん会員名簿作成ありがとう。　佐藤　彰

グレイスさん、バンコックでは大変お世話になりました。本日の卓話、楽しみにしています。　大原　敏正

会長挨拶　堀江　英弥

先週の水曜日に名古屋名東ロータリークラブの創立30周記念式典があり会長・幹事が出席してまいりました。神田知事・松原市長・江崎ガバナー・姉妹提携RCなど多数のご出席のもと華やかに開催されました。

さて、きょうは料理の土瓶むしや茶碗むしなどで脇役のギンナンの話をいたします。ギンナンはイチョウの実であることはみなさまご存知のとおりで、中国が原産の長寿の木で高さは20～30mになり、広葉樹と思われますが針葉樹です。また、雄株と雌株があり実は雌株にみのります。4～5月に花が咲き風により受粉し、花粉から鞭毛を持って自由に動ける精虫ができ、胚珠の核と受精します。このことは1896年東京大学の平瀬作五郎先生によって確かめられました。こうして9月末頃にギンナンがみのります。

ギンナンには咳止めや夜尿症に効く成分がありますが、食べ過ぎると痙攣を起こすなど害にもなるということなので一日4～7粒にしましょう。

生産高は愛知県祖父江町が日本一で、ギンナン採取を目的とした栽培はこの地がはじめとされています。また、中区の木はイチョウです。

元米山記念奨学生による卓話
「日本とタイとの交流について」
元米山記念奨学生
ジラルンルアンチャイ・グンティダーさん

皆さんは、日本とタイの交流についてどれくらい知っていますか。日タイ両国は、600年以上にわたる長い交流の歴史があるといわれています。日タイ関係の始まりは、琉球王国商人(現在の沖縄)と交易を始めた600年以上前まで遡ることができます。日本の史記によれば、琉球王国の貿易船はタイのスコータイ王朝時代に当たる14世紀頃から東南アジア各国と通商関係を持っていました。14世紀後半の琉球からタイへの主要輸出品には、絹、織物、陶器、日本刀があって、その反対に、タイから琉球への主要輸出品は染色樹、宋胡録、香辛料、酒等があげられます。当時の二国間関係をよく表す物品は、現在も茶道で用いられ馴染みのある宋胡録です。この他、沖縄の地酒「泡盛」は長粒のインディカ種タイ米を原料にタイの酒造方法が琉球に伝わり作られた酒だと考えられています。

アユタヤ時代に入ると、二国間の交易範囲は日本の本土にも広がりを見せます。17世紀から徳川幕府は、南方貿易に携わる日本商船に朱印状を発行し、一方で1604年、日本に入港するタイの商船にも初めて朱印状を発行しました。当時、日本からタイに向かう商船の数は他国に向かう商船数をかなり上回っていました。1612年、幕府の政策によりタイ商船も長崎に出入りするようになりました。この頃、日本がタイから買い付けた物品は鹿の皮、象牙、動物の角、鈴、など多くになるにつれ、二国間貿易は拡大しました。この状況下で、多くの日本人商人がアユタヤに移り住み、日本人町を作りました。日本人町には最盛期で約1,500人の日本人が住んでいたと伝えられています。

アユタヤ日本人町に住んでいた日本人の多くは、中流貿易商や徳川幕府のキリスト教取締政策で国外脱出をしたキリスト教信者

でした。この他、内部闘争に負け国外脱出を余儀なくされた武士も少数いました。彼らは武器や戦いの知識・手法を持っていたため、後にアユタヤ王朝のソンタム王(พระสรรเพ็ญ)の治世、山田長政率いる「日本人傭兵隊」に加わり、戦争をする上で大きな役割を果たしました。

アユタヤ時代、二国間関係は貿易が中心でしたが、友好関係構築を目指した外交関係もすでに始まっていたと言えるでしょう。徳川幕府は1606年、初めてタイへ使節団を送り、一方でタイは日本側の歴史によると　1616年、ウィスートスントーン(วิสุทธสุนทร)とピパタンスントーン(พิพัฒนสุนทร)を日本に送りました。両国使節団の往来は日本が鎖国するまで、またアユタヤ王朝がビルマと戦争問題に陥るまで続けられました。両国政府間の交流はおよそ200年間途絶えましたが、貿易は徳川幕府が唯一外国との交易を認めた長崎のオランダ商人を通して持続されていました。

そして、1868年、明治時代に替わり天皇が再び国を統治するようになりました。それと同時に、タイのラーマ5世(チュラロンコーン王)が君主に即位しました。歴史を見る上で、この御二人は偶然にも様々な方面で似ています。明治天皇がお生まれになられた1年後、ラーマ5世が御誕生になられ、天皇が崩御された2年後ラーマ5世は崩御されました。その上、西洋諸国の植民地主義の影響を受ける両国の君主は、自国の独立と主権を守るため柔軟な対外政策を実行することを重視していました。西洋諸国に倣い国を発展させなければならない時代、二人の君主は外交交流を再開しました。両国が関係を復活するまでには、御二人の即位後、約20年の年月を要しました。

1887年、ロンドンのビクトリア女王即位50周年祝賀式典に参列した外務大臣テーワウオンワローパロン(เทวะวงศ์วโรปการ)親王は、ヨーロッパ諸国やアメリカを視察後、日本に立ち寄りました。この時、日本側は新たな国際レベルの公式な外交関係樹立を申し出、1887年9月26日東京にて「日タイ修好条約」が調印されました。タイはアジアの中で、日本が修好条約を結んだ初めての国です。たとえこの条約が条約を持って国交を結び、通商航海を奨励するという簡単な内容なものだったとしても、両国が結んだ公式の外交関係構築に当たります。

このように、両国間の正式な外交関係は1887年に始まり、以後、政治、経済など様々な分野で良好な発展を見せ、特にタイの王室と日本の皇室との関わりは大変親しいものです。そして、今年2007年に120周年という新たな節目を迎えています。

～ロータリー豆知識～
ロータリー米山記念奨学会とは

日本の大学・大学院で学ぶ外国人留学生に対し、全国のロータリアンによる寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間奨学財団です。

わが国最大の民間奨学事業

年間の奨学生採用数はおよそ800人、事業費は14．2億円(2005年度決算)と、国内では民間最大規模の奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計1万3，322人(2006年4月現在)。その出身国は、世界106の国と地域に及びます。

なぜ留学生を支援するのですか？

「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人との出会いを通じて互いに信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」

事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。それから50年以上の歳月が流れましたが、“民間外交として世界に平和の種子を蒔く”という米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えるとき、その使命はますます重要性を増しているのではないでしょうか。留学生の支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。

最大の魅力
「世話クラブ・カウンセラー制度」

奨学金による経済的援助だけでなく、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、奨学生を精神面でも支えています。奨学生一人ひとりに、地域のロータリー・クラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かなものになるように配慮しています。

「通常の学生生活では知り得ない日本社会を体験できた」「ロータリーの奉仕の心に触れて、人間的に成長できた」と、奨学生にはかけがえのない経験となると同時に、支援するロータリアンにとっても、米山奨学事業の意義を実感し、理解を深める機会となっています。

11月1日(木)例会のご案内

会員卓話
「日本古代神話」
(大国主命から日本武尊まで―完結編)
加藤　正樹さん

広報委員会

内藤　明・近藤宏一郎
小島　雅尚・杉浦　令淑
犬飼　芳雄・長野　弘